

四国医療工学専門学校

学校新聞 11月号

学校の行事や魅力を毎月お届けします！

頑張る学生紹介	1
臨床・介護コラボ授業	2
臨床工学技士模擬試験	2
医事コンピュータ技能検定	3
オープンキャンパス開催	3

NICE

頑張る学生をご紹介します！

出羽 みなみさん

医療情報学科 1年
高知県立高知丸の内高等学校 出身



出羽さんは、医療秘書検定3級を6月に受験し、その結果、成績優秀につき全国成績優秀者として表彰されました。

医療秘書検定は、主に病院などで医療秘書として働くために必要な専門知識と技能を認定するもので、医療秘書教育全国協会が行っている検定試験です。

この検定は、医療界における事務のスペシャリストを目指す人にとって、必須の資格となっています。

そんな頑張る出羽さんに、いくつかの質問をしました！

Q & A

Q1 医療事務を志したきっかけは？

小さい時に病気で入院していた時に仲良くなったのが受付の人で、母親に確認したら医療事務と言う職種だと聞いて興味を持ちました。

Q2 本校に進学を決めた理由は？

他の学校よりも医学の知識を学べると聞いて、そうしたことも知っておいたほうが良いと思い決めました。

Q3 今、学んでいることは？

礼儀やマナーなどに加えて、資格の勉強を中心に学んでいます。

Q4 特に頑張っていることは？

将来に向けて役に立つと考え、資格の勉強を頑張っています。

Q5 学校生活はどうですか？

新しい友達もできて、楽しい学校生活を送っています。

Q6 本校と他校の違いは何だと思いますか？

医学の知識が身に付けられるところだと思います。あとは、落ち着いた雰囲気があります。

Q7 本校のいいところは？

挨拶はもちろん、教員が来たら立ち上がって礼をするなどの礼儀がきちんとできているところ。社会に出たら活かせることを学ぶことができるのが魅力だと思います。最初は慣れなかったけどそれが当たり前になってきて、改めてすごいなと感じています。

Q8 好きな授業はありますか？

今受けているいろんな授業が好きです。最初から始めてだんだんと慣れてきて、解くスピードが速くなって達成感が出てきて好きになったのだと思います。

Q9 これからの目標は？

取れる資格は全部取りたいと考えています。ドクターズクラークに興味があるので、それに向かって頑張っていきたいです。

Q10 高校生に向けて一言

成績を上げていたらいろんな学校が選べるようになるので、定期テストを頑張ってください。私自身、高校の先生から本校の新しい授業料減額制度があると聞いて成績を意識しはじめ、授業料の減額を受けることができました。

(記者：宮本、赤嶺)

11/10

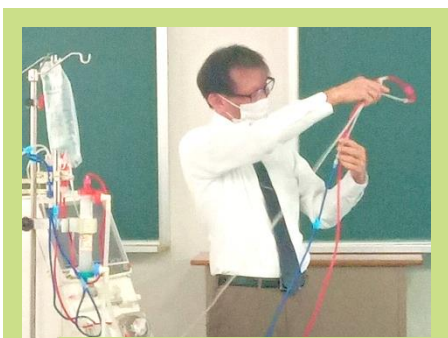
臨床工学学科

臨床工学学科・介護福祉学科 コラボ授業

11月10日、高知福祉専門学校介護福祉学科2年生に、本校臨床工学学科の永野先生が「人工透析について」の学校間連携授業を行いました。

この授業は、介護福祉学科の学生たちに、介護福祉職として腎機能障害の治療法である透析療法の機器を理解し、臨床工学技士から生活支援を行う上で必要な知識をつけてもらいたいとの思いから実施されたものです。今回の授業で学生達は、実際に透析療法の治療で使われる機器を見ながら、腎臓の役割から具体的な治療方法まで、丁寧な説明を受けました。実際に授業を受けた学生によると、「教科書だけでは分からないことを知れて面白かった」「多職種連携が近年言われているので臨床工学技士の視点を知れてよかった」などの声が聞かれました。また、永野先生は「透析患者さんの痛みや辛さを知っておいてほしい」と臨床現場での経験もふまえて話していました。

四国医療工学専門学校・高知福祉専門学校では、このように学校間が連携して学生達の深い学びにつなげる取り組みを行っています。今後も学生達が自信を持って将来に向けて歩いていけるようサポートしていきます！
(記者：赤嶺)



初めて見る機器に興味津々な様子でした♪



11/11

臨床工学学科

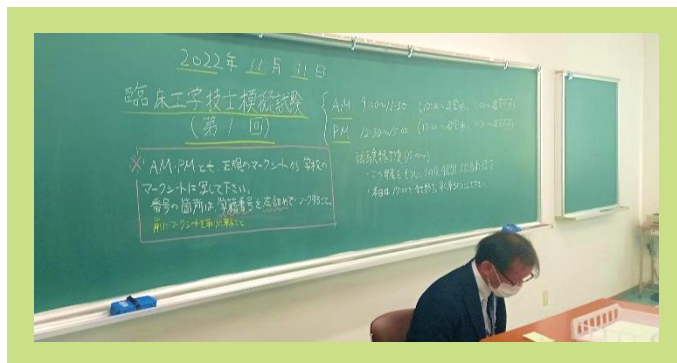
臨床工学技士模擬試験

11月11日に、校内で第1回臨床工学技士模擬試験を実施しました。

この試験は、メジカルビュー社の今年度最初となる臨床工学技士模擬試験で、全国の臨床工学技士志望者（本校では臨床工学学科3年生）が受験します。受験することで、個々の全国順位を把握することができ、各問題の正答率なども出るため今後の学習に活かすことができます。実際に試験を受けた学生は、「基礎を徹底して勉強しないといけないと感じた。」「うろ覚えが多いと感じたので、それをなくしていきたい。」などたくさんの気づきがあった様子でした。また、「過去問をいっぱい解いてみんなに教えられるようになるまで勉強したい。」と決意を新たにした学生も。

次の模擬試験は同月25日に行われます。学生達は、「次の模擬試験に向けて頑張りたい！」と気持ちを高めていました。

国家試験までの勉強は大変ですが、この経験が今後活かせる日が来ると思います。これから寒い日が続きますが、学生達には体調管理をしっかりとって頑張ってもらいたいです！
(記者：赤嶺)



11/12

医療情報学科

医事コンピュータ技能検定試験（3級）を受験

11月12日、医療情報学科1年生が、医事コンピュータ技能検定試験3級を本校で受験しました。

前半は通常教室でマークシート方式の問題50問に答え、後半はコンピュータ室に移動し、レセプト入力を行い出題20問に挑戦。全員、緊張しながらも一生懸命問題に取り組んでいました。学生からは、「緊張したが、途中で間違いに気づいて直せた。ギリギリで合格できているのではないかと思う」「少し難しかったが、手ごたえはあった」「疲れた。時間が足りない」などの感想が聞かれました。

正答率6割で合格の試験、全員が合格できていますように！
受験した皆さん、長時間お疲れ様でした。（記者：野村）



での流れを実際に体験していただきました。臨床工学学科のテーマは「呼吸ってどうやってしてるの？」で呼吸の仕組みから人工呼吸器の操作までチャレンジしていただきました。参加いただいた高校生からは、「以前参加した時には知らなかったことが知れたので有難かったです」「すごく勉強になった」「たくさんのことを知れてよかった」などの感想がありました。

2回目となる入学前サポート学習では、医療情報学科は「医学の基礎知識について」ということで臨床工学学科の先生から臓器の働きについて説明を受け実際に臓器模型のスケッチをしていただきました。臨床工学学科は「臨床工学技士を目指す上で必要な数学とは？」というテーマで実際に入学後必要となってくる数学の各分野について一から丁寧な説明を行いました。学習に参加した合格者からは、「かなり（数学に対する）不安が解消された」「結構忘れていた分野もあったので復習しないといけないと思いました」「授業自体はわかりやすく面白かったです」といった声が聞かれました。（記者：赤嶺）



11/19

医療情報学科

臨床工学学科

オープンキャンパス・入学前サポート学習を開催

11月19日に、第10回オープンキャンパスと第2回入学前サポート学習を開催しました。

今回のオープンキャンパスの体験学習では、医療情報学科のテーマは「調剤薬局事務のお仕事体験」でデータ入力から薬を選ぶま

